20xx年○月吉日

○○大学／○○病院

施設長　○○先生　侍史

日本口腔外科学会 理事長　古郷幹彦

日本頭頸部外科学会 理事長　北野博也

日本臨床腫瘍学会 理事長　　南 博信

**頭頸部がん薬物療法診療連携プログラムのご案内**

謹啓

　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご存知の通り、他の悪性腫瘍と同様に免疫チェックポイント阻害薬であるニボルマブがプラチナ抵抗性頭頸部扁平上皮癌患者の生存に寄与することが示されました。この結果、本邦においても2017年3月24日より「再発又は転移を有する頭頸部癌」にニボルマブは適応追加となっております。現在、頭頸部がんにおいて免疫チェックポイント阻害薬は単剤でのみ使用可能ですが、他の薬剤や放射線治療などの治療法との併用も臨床試験において検討されており、今後ますます臨床の現場での使用頻度が増えることが予想されます。

免疫チェックポイント阻害薬は、これまでの抗悪性腫瘍薬とは全く異なる作用機序を有しています。これにより生じる特徴的な免疫関連有害事象は、頻度は低いものの自己免疫的な機序による循環器・呼吸器・消化器・内分泌・神経/筋・血液疾患など全身の合併症を生じることが知られており、総合的かつ全身的な内科的管理の重要性が増しています。

また、免疫チェックポイント阻害薬に限らずこれからの悪性腫瘍の薬物療法はより臓器横断的な知識と経験が重要な時代に移行しつつあります。このような状況を鑑みますと、これを契機に他の専門診療科（耳鼻咽喉・頭頸部外科医や歯科・口腔外科医）の先生方とより深い連携体制を構築し、患者により良い治療を提供したいと考えています。

そこで日本臨床腫瘍学会は「頭頸部がん薬物療法診療連携プログラム」を立ち上げ、日本頭頸部外科学会及び日本口腔外科学会との間に学会間連携の枠組みを構築することとしました。貴施設におかれましては是非、本診療連携プログラムの趣旨をご理解頂き、ご協力くださいますよう宜しくお願い致します。

末筆ながら、貴施設の益々のご発展を祈念申し上げます。

謹白

記

『頭頸部がん診療連携プログラム』における診療連携協力施設情報（掲載を依頼する貴施設の情報）

掲載内容：頭頸部がんにおける診療連携協力施設名（貴施設名）、協力医師名、連絡先

掲載場所：頭頸部がん診療連携プログラム専用ウェブサイト

以上

年　　月　　日

**承　認　書**

日本頭頸部外科学会及び日本口腔外科学会と日本臨床腫瘍学会の学会間連携による『頭頸部がん診療連携プログラム』に協力することを承認いたします

記

『頭頸部がん診療連携プログラム』における診療連携協力施設情報（ウェブサイト掲載情報）

掲載内容：頭頸部がんにおける診療連携協力施設名（貴施設名）、協力医師名、連絡先

掲載場所：頭頸部がん診療連携プログラム専用ウェブサイト

以上

施設名：

施設長署名　：

記名押印可